

2006. 4. 17.

武庫川流域委員会 委員長 松本 誠 様

委員 法西 浩

意 見 書

流域委員会ではいろいろお世話になりありがとうございます。前回に続いて意見書を提出します。よろしく審議お願いします。

基本高水流量算定に社会科学からの検討を！

・前回委員会では、高水流量を自然科学的に最尤値を求めるよう意見書を提出した。

・しかし、自然科学的に流量を求めることの重要性は問題はないが、さらに社会科学的にも最尤案を求めることもことも重要と考える。

その理由 政府の財源が豊かではなくなったこと、環境保護団体や地域住民が、公共事業に対して、批判を強めてきたこと、環境破壊が重要局面を迎えてきたこと、またそれに対して住民がきびしく行政を批判するようになったこと、などとりあげると限りがない。

これらのことを次のようにまとめることができる。

● 経済的現実性—大規模開発事業の莫大な建設費用とその運用費用は償還しきれないということに住民は気付いた。公共財源の運用の仕方の問題が浮かび上った。

● 社会的現実性—公共事業はいろいろあるが、それらの多くの施設建設に対して、住民が鋭く批判するようになった。公共事業を行うには、環境アセスメントを行い、住民の意見を十分に反映しなければならなくなった。

● 運営の現実—開発による環境破壊、それにとמונau、森林、草原、湿原と生物生息地の消滅、土着文化の破壊、汚染、水質の悪化、貯水施設の堆砂、ダムの安全性の問題など、これらは私たちの開発の副産物になり、次の代への負の遺産を与えてしまうことになった。

● 環境コスト—私たち住民は、長期的に見たエコロジカルな、あるいは文化的な側面により高い価値を置ける、と気づき始めた。例えば、武庫川渓谷は、景観と、生物多様性、希少・重要生物の豊庫であることに、共通認識を持つことができるようになった。

新しい選択 以上4つの変化をおこしてきた住民の力を無視できなくなった。では、これを悲観しているだけでよいのか？ いや、ちがう。新しい選択肢が生れてきている。希望が見えてきた。例えば、私たちは武庫川の治水に対して、新規ダム建設にたよらずに解決する多くの代替手段があることに気付くようになった。

先に述べた、・経済的現実性、・社会的現実性、・運営の現実、・環境コストを考慮し、住民総意による公共事業を推進すべき、と考える。

治水事業もまた財政面の整合性を考慮すべきである。

2006. 4. 17.

武庫川流域委員会 委員長 松本 誠 様
委員 法西 浩

意 見 書

いろいろとお世話になりありがとうございます。意見書を提出します。

堤防強化が最重要！

- ・16年23号台風から学ぶもっとも大きな成果は、堤防強化であった。
- ・第38回流域委員会で、中川委員がダム対策よりも重視されるべき対策は、連続した堤防強化である、と強調された。
- ・また、それを補足する意見として、土屋委員から、堤防強化には、さらに河畔林が水害防備林となり、水制作用と濾過作用もあることを強調された。
- ・筆者は全く同感である。
- ・2人の発言は、極めて正鵠を得た堤言である、と筆者は考える。
- ・基本高水流量の算定のいかに問わず、まず、整備計画としてまっ先にとり上げるべき、と考える
- ・筆者は、それを補強するために、ここにその資料を提供する。

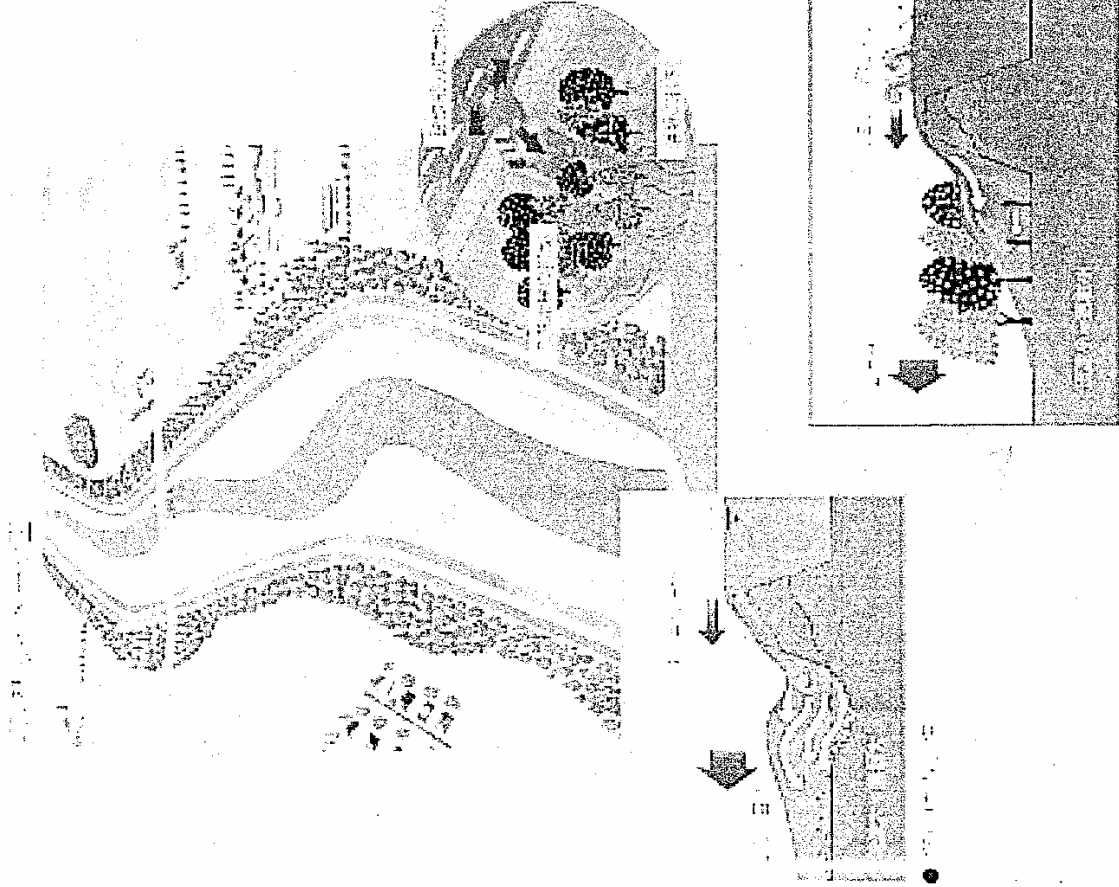
堤防強化の対策

- 堤防沿いの樹林帯（河畔林） 1997年河川法改正第3条に規定された（図1）
 - 究極の治水体系は約400年前にある！ 桂川右岸堤防の笹垣＝水害防備林（図2）
 - 究極の治水体系は約400年前にある！ 城原川の野越（図3）
 - 水害防備林の水制作用と濾過作用 信濃川水系登川（図4）
 - 連続地中壁工法（Trench cutting RE-mixing Deep method :TRD 工法）
（出典：TRD工法協会パンフレットより）（図5）
- 以上は、06年3月18日 武庫川円卓会議 主催 シンポジウム 大熊孝教授の講演からの資料にもとづく。

(図1)

1 堤防沿いの樹林帯 (河畔林)

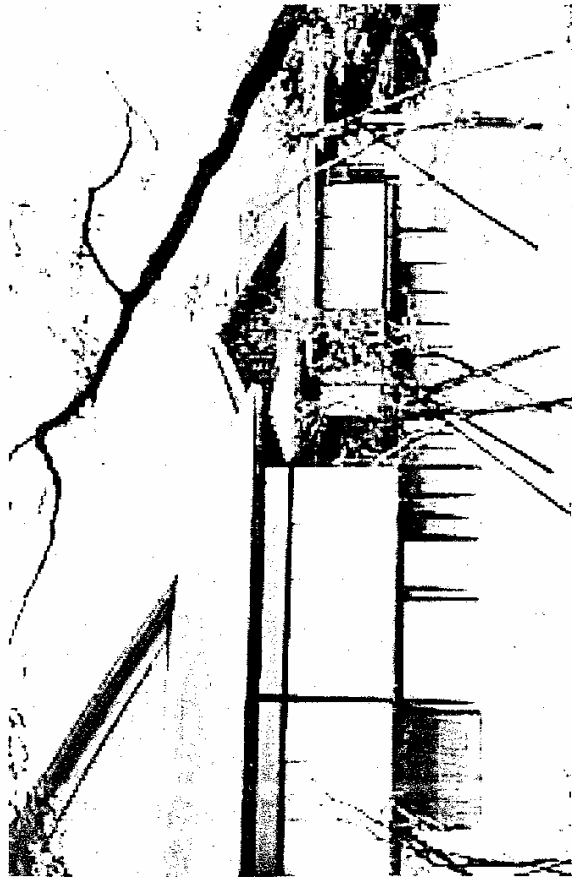
堤防の機能を補完、強化すべき区間について整備



1997年
河川法改正
第3条に規定され
た 樹林帯 (河畔
林)

これは伝統的工法の
水害防備林
である。

(図2) 究極の治水体系は約400年前にある!



桂離宮書院=水屋

桂川右岸堤防の笹垣
=水害防備林



(大熊撮影)

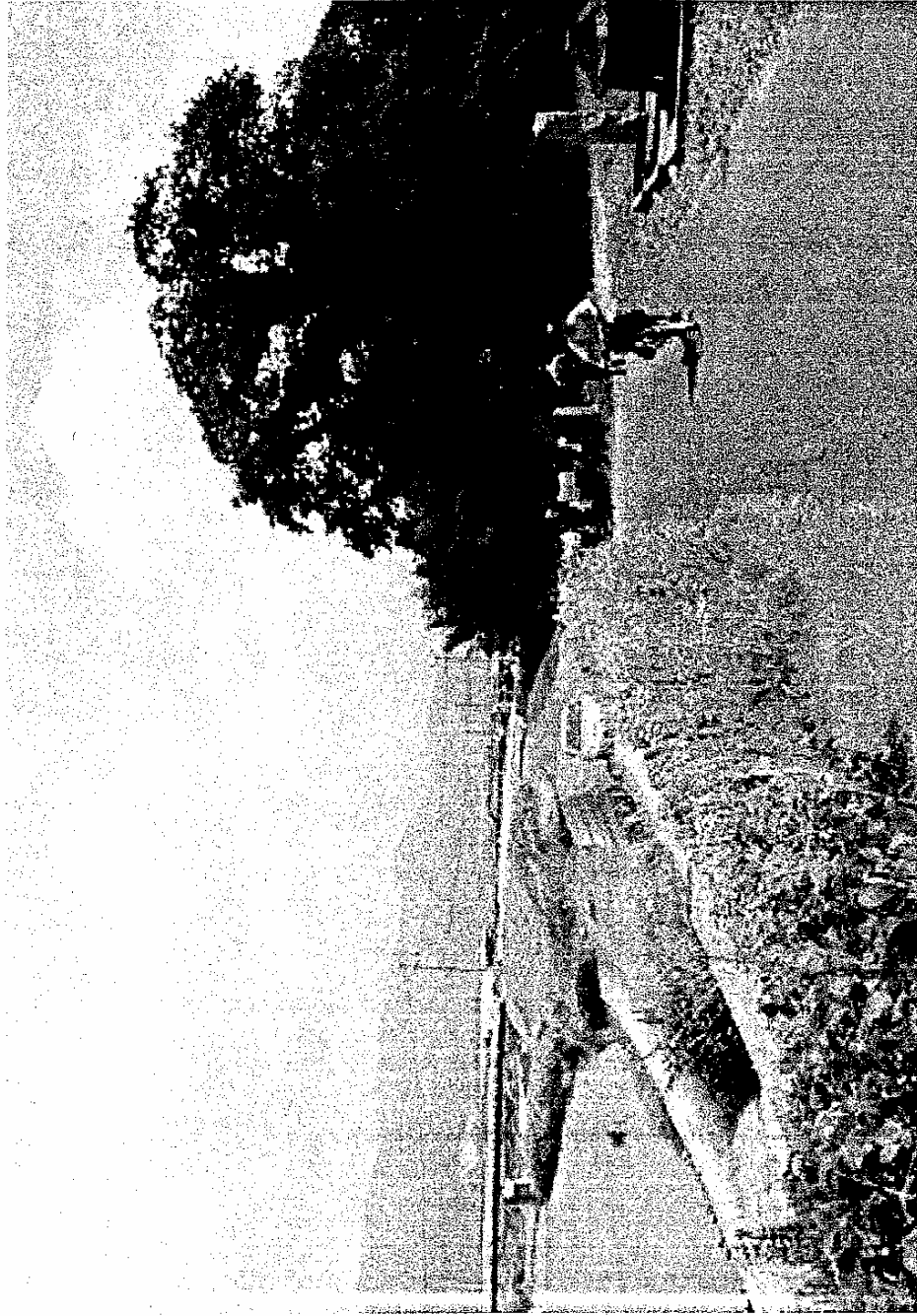


中村軒の中村喜芳氏

究極の治水体系は約400年前にある!

城原川(筑後川右支川)の野越

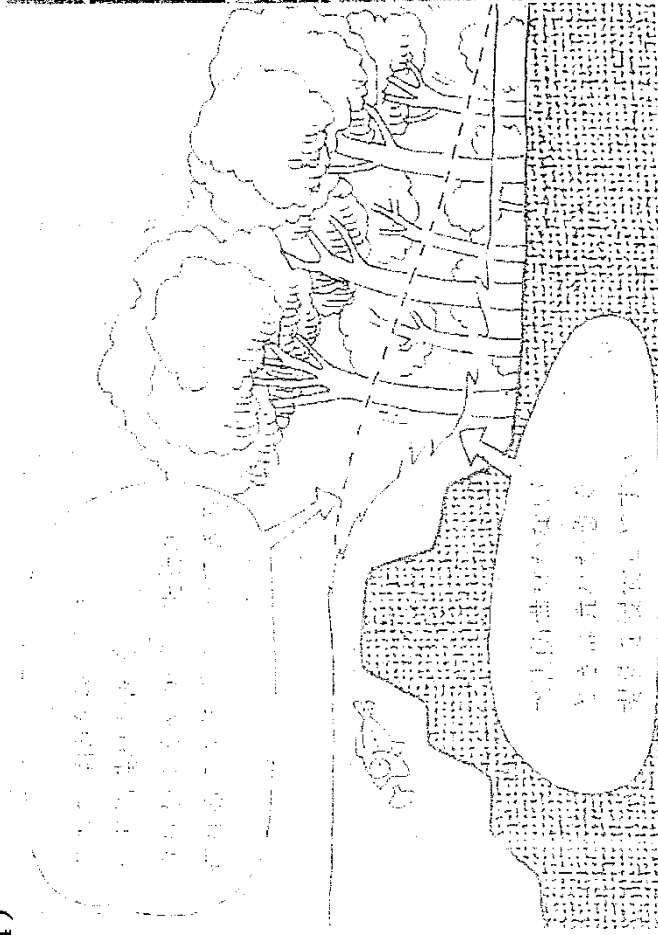
成富兵庫茂安(1560~1634)



この陰に鶴西
の集落がある。

堤防を越流するところを限定して、
すなわち、越流堤を設けて、破堤による氾濫を防ぐ。

(図4)

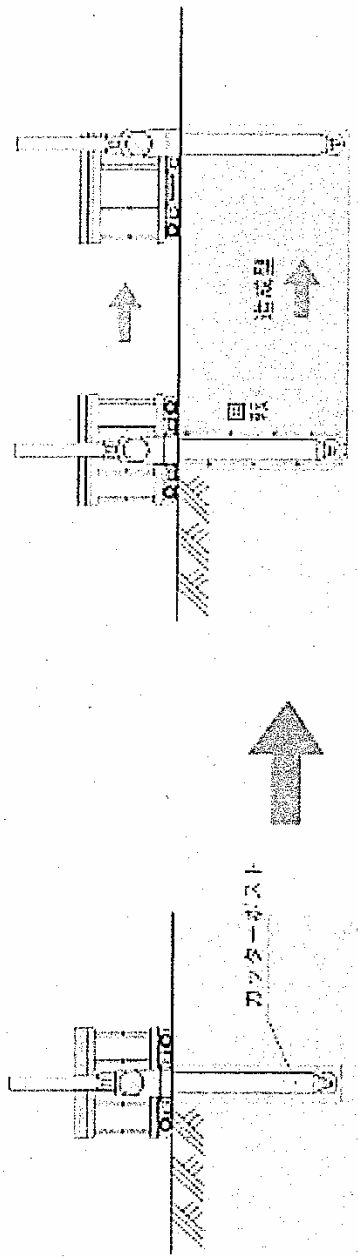
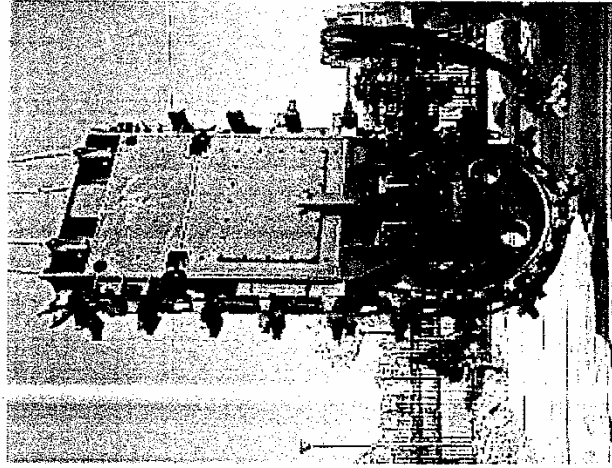
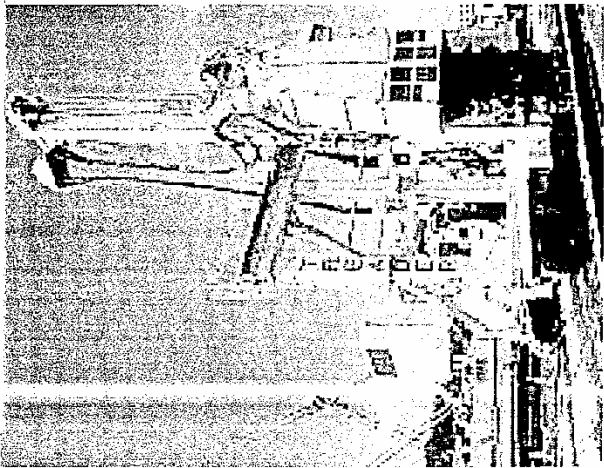


信濃川水系登川(新潟県) (大熊撮影)

水害防備林の 水制作用と濾過作用

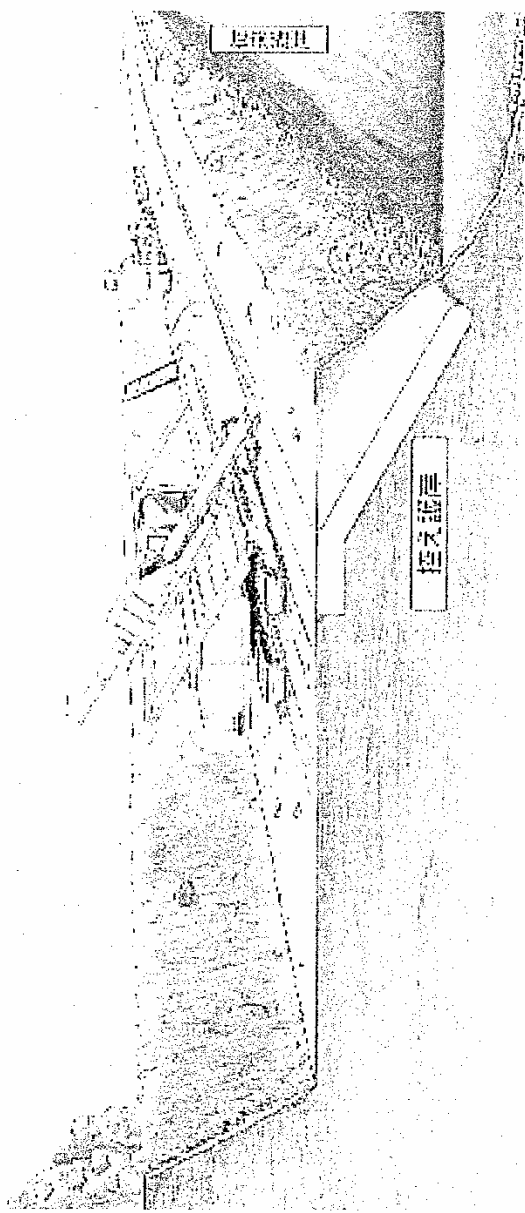
連続地中壁工法 (Trench cutting RE-mixing Deep wall method: TRD工法)

(図5)



カッターポストの建込み

掘削、混合攪拌



出典:TRD工法協会パンフレットより